

2017年5月17日

住友理工、人とくるまのテクノロジー展 2017 横浜に出展 「車体用ダンパーブレース」「低比重 EPDM ホース」を初出品

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は、5月24日（水）からパシフィコ横浜・展示ホールで開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展 2017 横浜」に住友電気工業株式会社（大阪府中央区）、住友電装株式会社（三重県四日市市）と3社共同でブースを出展します。



今回は、当社独自の高分子材料技術によって生まれた高減衰粘弾性材料によって、車体の振動や変形を熱エネルギーに変えて吸収する構造デバイス「車体用ダンパーブレース」と、新開発の軽量補強材を採用することで従来比 20%の軽量化を達成した「低比重 EPDM ホース」を初出品します。

また、次世代自動車への取り組み事例として、独自開発のオールゴムセンサー「スマートラバー（SR）センサ」をシートに内蔵し、ドライバーの押圧・接触・心拍検知を目指す「ドライバーモニタリングシステム」を体験できるデモ機を昨年に引き続き今回も出品します。

自動車の軽量化による環境負荷低減や、軽量化に伴って増大する振動のマネジメントによる快適な車内環境づくり、そして未来の安全で安心なモビリティライフの実現——。人・社会・地球への貢献を目指して挑戦する住友理工の技術を是非ご覧ください。

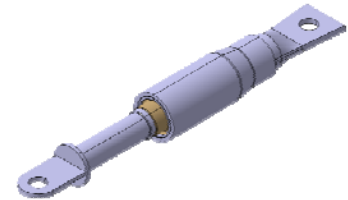
<開催概要>

展示会名	自動車技術展：人とくるまのテクノロジー展 2017 横浜
会期	5月24日（水）～26日（金）
会場	パシフィコ横浜・展示ホール
ブースエリア	ブース番号 71

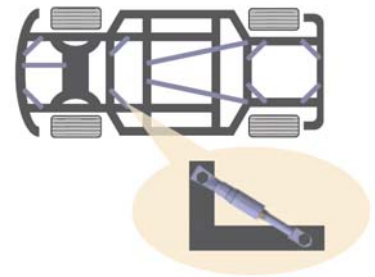
<展示品紹介>

・車体用ダンパーブレース

車体用ダンパーブレースは、当社のコアコンピタンスである「高分子材料技術」によって生まれた、ゴムや熱可塑性エラストマーなどの高減衰特殊粘弾性材料を内蔵しています。この粘弾性体が車体の振動や変形を熱エネルギーに変えて吸収することで、振動低減や操縦安定性の改善に貢献します。ゴム素材の特長である設計の自由度の高さを生かし、ボディ下部のフレーム状の部材が交差する箇所など、ボディの補強・制振を要求され、かつ設置するスペースが限られた狭い場所にも取り付けることが可能です。



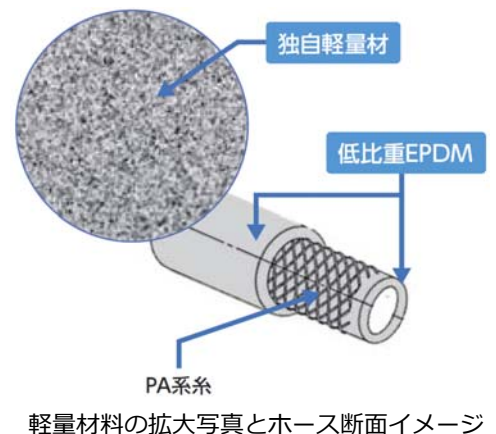
車体用ダンパーブレース（イメージ）



設置イメージ

・低比重 EPDM ホース

低比重 EPDM（エチレンプロピレンジエンゴム）ホースは、部品の軽量化を目的に開発されたもので、ウォーターバイパスホースや、ラジエーターホースなどの水系ホースをはじめとした様々なホースへの応用が可能です。強度、耐久性、耐熱性、絶縁性などの特性は従来の EPDM ホースと同等でありながら、新開発の軽量補強材料を採用した配合設計により、約 20%の軽量化を達成しました。当社の低比重 EPDM への切り替えにより、車両当りで約 1kg^{*}の軽量化が可能となります。*当社独自試算結果



軽量材料の拡大写真とホース断面イメージ

以上

—— 住友理工について ——

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制振音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <http://www.sumitomoriko.co.jp/>